

全模研の先生方へ

皆さん、いかがお過ごしでしょうか?

何かと暗い話題が多い中で、少し明るい話題がありましたのでぜひ共有したいと思います。

一昨日(4月26日 日曜日)任意の高校生団体「もぎこみゅ」が主催するオンライン模擬国連が開催されました。参加者は首都圏の高校生が中心のようでしたが、中京圏、関西圏の生徒も参加していたようです。世間で急速に普及した ZOOM を利用したもので、校内や数校ベースでのオンライン会議は以前からあったと思いますが、私が知る限り全国規模の高校生が参加するオンラインで行う模擬国連大会は日本で初めてだったのではないのでしょうか?(もし、すでにそのような大会が開催されていたら私の情報不足ですので、ぜひお知らせください)そのオンライン模擬国連を参観しました(もちろん自宅の PC にて)ので、簡単にレポートにまとめました。

主催者によれば、もともとはリアルの大会を考えていたところ、このような状況になって急遽オンラインに切り替えたようです。日本の多くの学校がリモート授業をめぐって四苦八苦している中で、デジタル世代の彼らはいとも簡単にそのハードルを乗り越えてしまう逞しさに大きな可能性を感じました。

先日お伝えしたように、全模研が毎夏に開催している全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)は今年の本大会の見送りを決定しており、現在代替案も含めて今後の方策を検討中です。主催者としても実施の方法について憂慮している中でのこの会議の成功でした。もともと模擬国連は会議なので、テレビ会議システムと親和性が高いのは当然ですね。模擬国連は、まさに3密の状態で行われる活動で、このまま委縮しないかと非常に心配していましたが、光明が差した思いです。コロナ後の MUN 活動が楽しみになってきました。

以上、レポートを添付しますので、ぜひご一読ください。

注意:若干辛口の批評も含まれていますので、身近に参加生徒がいたとしてもレポートの内容は機密扱いとしてください。よろしく申し上げます。

米山

参考:もぎこみゅ HP はこちらから

<http://www.mogicommu.com/>